



# とよなかの環境

## 2019年度 速報版

豊中市では「第3次豊中市環境基本計画」に基づいて環境施策を進めています。「とよなかの環境・速報版」(環境報告書)では令和元年度(2019年度)の活動実績をふまえて、施策の進ちょく状況の速報結果を公表しています。市民のみなさんからのご意見、ご提案を受けて、今後の施策の展開・事業の見直しを行います。



### 目標達成のために取り組むこと

目標  
1

協働して  
目標を  
達成しよう

よりよい環境をめざして  
多様な主体のパートナー  
シップで取り組む

目標  
2

地球温暖化  
防止に  
取り組もう

1人あたり温室効果ガス排出量  
(t-CO<sub>2</sub>)を令和9年度(2027  
年度)までに、平成2年度  
(1990年度)比32.1%削減し、  
低炭素社会をめざす

目標  
3

ごみを減らし  
資源を  
循環させよう

発生抑制・再使用と質の高いリサイクル(再生  
利用)の推進により、ごみの焼却処理量を令和  
9年度(2027年度)までに平成28年度(2016年  
度)比8%削減し、循環型社会の構築をめざす

目標  
4

みどり豊かな  
まちを  
つくろう

みどり率27%で心豊  
かな豊中らしいまち  
をめざす

目標  
5

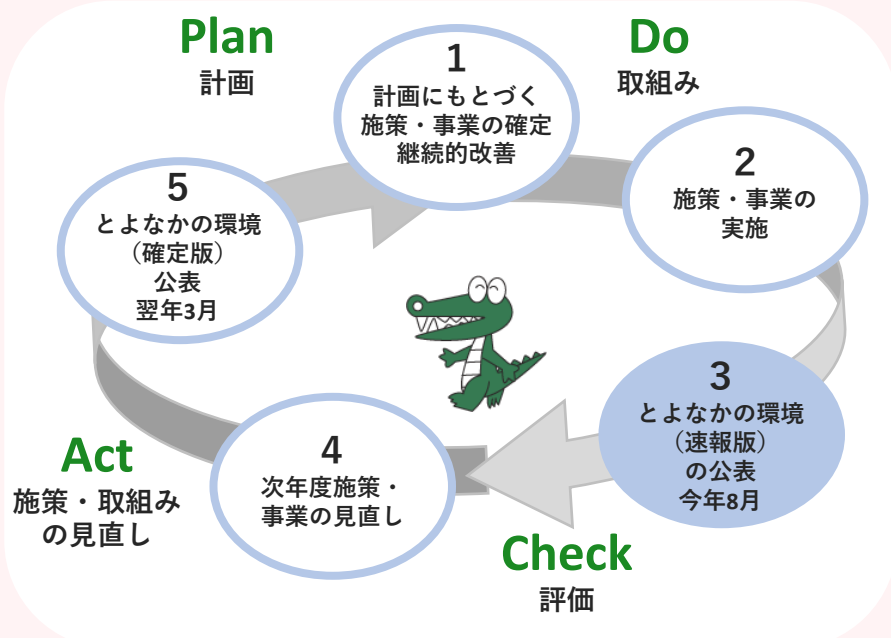
安全で快適な  
都市環境を  
守ろう

環境基準の達成状況100%で  
快適な都市環境をめざす

### 計画の進め方

計画の推進を着実に図るために、PDCAサイクルによって毎年度、活動を評価し、進行管理を行っています。

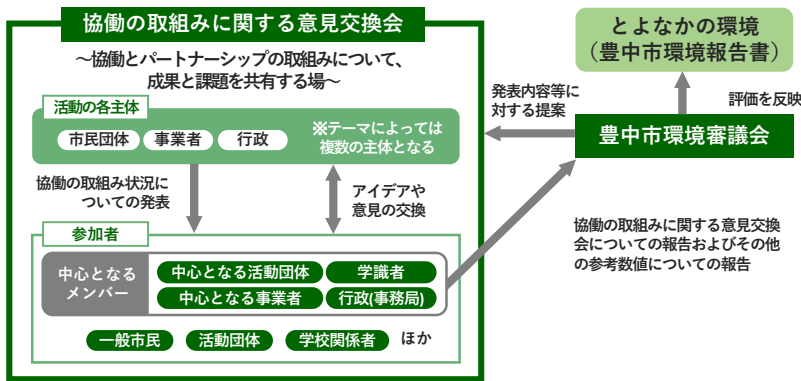
進行管理の中で、環境報告書を8月(速報版)と3月(確定版)に公表し、環境審議会と市民のみなさんからのご意見やご提案をもとに施策・事業を見直し、改善を図りながら、目標の実現をめざして取り組んでいきます。



# 2019年度施策進ちょく状況の見方

## 目標 1

協働とパートナーシップの取組みに対する評価のプロセス



## 協働とパートナーシップの進行管理

多様な主体のパートナーシップの取組み成果や課題を共有する「協働の取組みに関する意見交換会」を毎年開催しています。

豊中市環境審議会では、意見交換会の結果と参考数値の動向をふまえて進行管理を行います。

## 進ちょく評価

今年度の速報版では、協働の取組みにより生物多様性保全を行う活動団体の中で一部の活動事例を紹介しています。「協働に関する意見交換会を」実施し、結果については、令和3年(2021年)3月発行の「とよなかの環境・確定版」で公表する予定です。

## 目標 2～5

### 環境目標

各環境分野ごとに環境目標を設定しています。

### 市の取組み

市の主な取組み内容を紹介しています。

### 指標の進ちょく状況

代表指標は目標達成に最も影響を与えるものです。その他の指標は、代表指標を補完または影響を与えるものです。

### 家庭や事業所で できること

環境目標に向けて市民や事業者のみなさんに取り組んでもらいたいことを記載しています。

また、活動団体・事業者等の取組み事例を紹介しています。

参考：人口データ

2018年度 398,701人、2019年度 400,655人、2020年度 401,554人(8月時点)

## 評価の判断基準

目標2～4は、環境基本計画の進行管理として、代表指標に目安線をひいています。

目安線と数値の関係や前年度との比較でA～Dをつけています。

- A** 今年度の目標を達成しました  
目標達成のめやす以下かつ前回値以下
- B** 今年度の目標を達成しましたが、  
さらに努力が必要です  
目標達成のめやす以下かつ前回値より大きい
- C** 更なる努力が必要です  
目標達成のめやすより大きく、前回値以下
- D** 改善の傾向にありません  
目標達成のめやすより大きく、前回値より大きい

備考：目標4は以上を以下、以下を以上に読み替える。大きいを小さいに読み替える。

目標5は、すべての環境基準を達成した場合「A」、達成していない場合「D」をつけています。

## 要因分析

代表指標および指標が「どうしてこのような結果になったのか」を市で要因分析しています。



## ご意見やご提案をお聞かせください

右のQRコードから、「とよなかの環境・速報版」を読んで疑問点や各施策に関する要望、これから取り組むべきことなど、ご意見やご提案をお寄せください。

令和3年(2021年)3月発行の「とよなかの環境・確定版」で紹介いたします。

豊中市電子申込システム



# 協働して目標を達成しよう

よりよい環境をめざして  
多様な主体のパートナーシップで取り組む

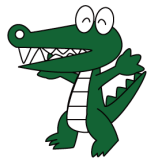


## 豊中市の2019年度の取組み

- ◆ 動画共有サイトYouTubeに「とよなか環境TV」を開設し、随時環境に関する情報を発信
- ◆ 「環境学習」をテーマに協働の取組みに関する意見交換会を開催
- ◆ とよなか市民環境展で環境基本計画進ちょく状況のパネル展示や市内の団体の取組みを周知

## 2019年度の協働の進ちょく状況

2020年度実施予定の「協働の取組みに関する意見交換会」のテーマは「生物多様性」です。市内での取組み事例をご紹介します。



### 4 団体で構成するヒメボタル保護者会により希少なヒメボタルと生息環境を保全

#### ヒメボタル保護者会

豊中ヒメボタルを守る会

春日三丁目蛭会

NPO法人とよなか市民環境会議  
アジェンダ21

豊中市

#### ヒメボタル保護者会

希少なヒメボタルの生息数の増加と生息地である「春日町ヒメボタル特別緑地保全地区」の保全活動に協働して取り組んでいます。生息地の保全作業のほか、観察会や近隣小学校での出前授業などを実施しています。



### 地域と協働で裏山の自然を保全

刀根山高等学校生物エコ部地域のボランティアグループなどと協働で刀根山高校敷地内の裏山等の維持整備活動を行っています。また地元の公民館と協働し、里山の自然を活用した講座や体験イベントを開催するなど学びを通じた自然保全活動を行っています。



### 協働で千里緑地の竹林の間伐整備

天竺川ホタルの会竹林の整備、植林、ホタルの飼育、川の清掃などの活動を行っています。竹炭塾と協働して間伐整備を行っています。協働前は間伐した竹を積み上げるだけでしたが、協働することにより、整備・竹炭へ加工し、竹林は明るく安全な環境となりました。



## 家庭でできること

### 市内の環境活動に参加してみよう

豊中駅前にある市民活動情報サロンでは、活動を始めようとする方に向け、活動団体の紹介や相談に応じています。参加者同士で地域課題などを語り合う「ちゃぶだい集会」などのイベントも開催していますのでご活用ください。



## 事業所でできること

### とよなか市民環境会議に参加しよう

環境問題に取り組む市民・事業者・行政のパートナーシップ組織である「とよなか市民環境会議」への参加団体を募集しています。現在136団体で豊中の環境保全活動に取り組んでいます。みなさんのご参加をお待ちしています。



# 目標 2

## 地球温暖化防止に取り組もう

1人あたり温室効果ガス排出量 (t-CO<sub>2</sub>) を令和9年度 (2027年度) までに、平成2年度 (1990年度) 比32.1%削減し、低炭素社会をめざす

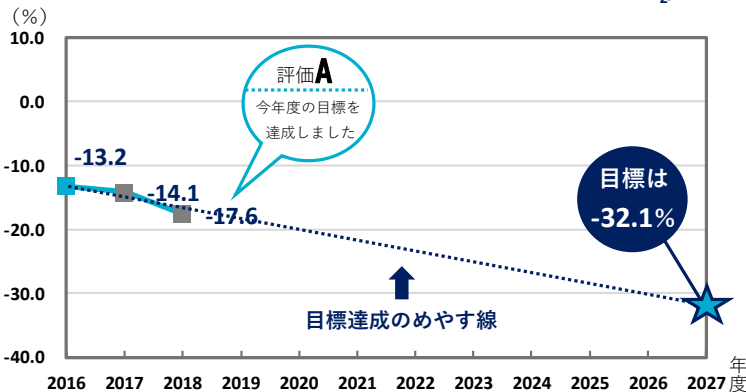


### 豊中市の2019年度の取組み

- ◆ 「COOL CHOICE普及啓発事業」として、LED照明や家電の省エネ機器への買い替えを促す啓発の実施、公共交通機関の利用を促すポスターの作成、省エネなどに関する動画作成
- ◆ 自転車通行帯空間の整備や南部地域でシェアサイクル実証実験を開始

### 2019年度の指標の進ちょく状況

#### 代表指標 温室効果ガス排出量 (t-CO<sub>2</sub>/人)



市民一人当たりの温室効果ガス排出量は、目標達成のめやすを下回っています。昨年と比べ、廃棄物部門からの排出が大きく減ったことが主な要因です。



※エネルギー消費量算定のもととなる、市内の販売電力量についてすべての把握が難しい状況です。

廃棄物部門  
温室効果ガス排出量  
1990年度比

年間  
**109.7%**

プラスチックごみの混入割合が改善傾向にあるが、災害ごみの発生により引き続き高い水準 (対前年13.5ポイント減少)  
目標は減少

家庭部門  
市民一人あたり  
エネルギー  
消費量※

年間  
**12.978GJ/人**

住宅の省エネ化や前年度に比べて暖冬で暖房器具の使用量が減ったことで減少傾向 (対前年1.405GJ/人減少)  
目標は減少

再生可能エ  
ネルギー等  
設備導入量

累計  
**4,851kW**

FIT価格 (電力の買取価格) の低下により余剰売電のメリットが少なくなったため、新規導入のペースが鈍化 (対前年351.1kW増加)  
目標は増加

### 家庭でできること

SNSで省エネ行動を広めよう!

毎月16日に「#せーのでエコ活」をつけて、取り組んだ省エネについて投稿すると、抽選でプレゼントがもらえる素敵なキャンペーンを実施しています。公式アカウントをフォローしてぜひご参加ください!

@Toyo  
naka\_5070



取組  
紹介

包装を簡易化しプラごみを削減  
株式会社二葉 ホテルアイボリー

ホテルアイボリーでは、食事の宅配サービスでのビニール袋の使用をやめ、テープを使った簡易包装に取り組んでいます。プラスチックごみの削減を行うことで、温室効果ガスの発生抑制に寄与しています。



### 事業所でできること

再生可能エネルギーを活用しよう!

事業で使う電力を、太陽光や水力、バイオマスなど再生可能エネルギー由来の電力に切り替えることで、事業から排出されるCO<sub>2</sub>を抑制できます。電力の切り替えをご検討ください。



グリーン電力を積極的に使用!

豊中市

市有施設で使う電力を、再生可能エネルギーの導入割合の多い事業者から優先的に調達する「環境配慮方針」を策定しました。グリーン電力を積極的に使用することで、事業から排出されるCO<sub>2</sub>の削減と再エネの普及を進めています。

# ごみを減らし資源を循環させよう

発生抑制・再使用と質の高いリサイクル（再生利用）の推進により、ごみの焼却処理量を令和9年度（2027年度）までに平成28年度（2016年度）比8%削減し、循環型社会の構築をめざす

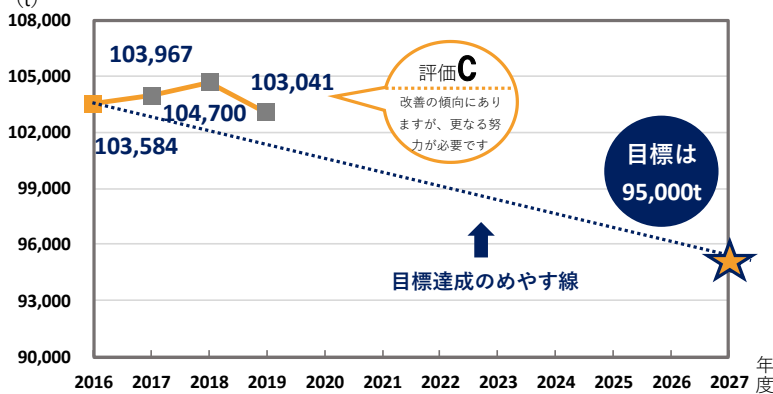


## 豊中市の2019年度の取組み

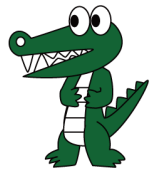
- ◆ 小学校、こども園等でさまざまな方法で環境学習・啓発活動を実施
- ◆ 事業系ごみの許可業者を対象に、豊中市伊丹市クリーンランドにて搬入物調査を実施

## 2019年度の指標の進ちょく状況

### 代表指標 焼却処理量 (t)



年間の焼却処理量は、前年度から減少しましたが目標達成のためには達していません。事業系ごみの量は順調に減少していますが、家庭系ごみの量は減少していません。



家庭系ごみ  
1人1日あたり  
排出量  
(再生資源を除く)

415g

2018年度は災害ごみの影響で増加していたが、2017年度並みの水準まで減少

(対前年5.0g減少)  
目標値は約387g

事業系ごみ  
年間  
排出量  
(再生資源を除く)

40,848t

事業系再生資源回収システムの拡充などにより減少

(対前年1,219.9t減少)  
目標値は約38千t

リサイクル率  
年間

15.2%

再生資源の量は変化はないが、ごみの総量が減少したことにより、前年度比で微増

(対前年0.1ポイント増加)  
目標値は約19%

## 家庭でできること

### 食品は必要な分だけ購入し食べ切ろう！

買い物の際は、マイバック等持参のうえ、食べきれぬ量の食品を購入してください。また、各家庭で使い切れない食品は、スーパー等で実施しているフードドライブへご協力ください。



### 取組紹介

環境に配慮したお店が増えています

豊中市減量計画課

「豊中エコショップ制度」の認定店舗に対し「豊中エコショップラベリング制度」を新たに実施し、プラスチックごみや食品ロス削減などの取組み内容が明確になりました。



## 事業所でできること

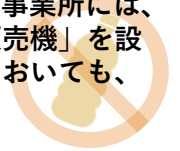
### 協働によるごみの減量にご協力を！

市民および事業者のごみの減量・リサイクルの推進を図る「豊中エコショップ制度」を実施しています。また、可燃ごみ削減推進のため「事業系再生資源回収システム」（ごみを排出する事業所と再生資源回収業者を結び、ルート回収）を市内104事業所で実施しています。

### ペットボトル商品を扱わない自動販売機を設置

豊中市

ワンウェイ（使い捨て）プラスチックの発生抑制を進めるため、市役所第一庁舎と環境事業所には、「ペットボトル商品を扱わない自動販売機」を設置しています。その他、市役所職員においても、マイボトルの持参等を進めています。



# 目標 4

## みどり豊かなまちをつくろう

みどり率27%で心豊かな豊中らしいまちをめざす

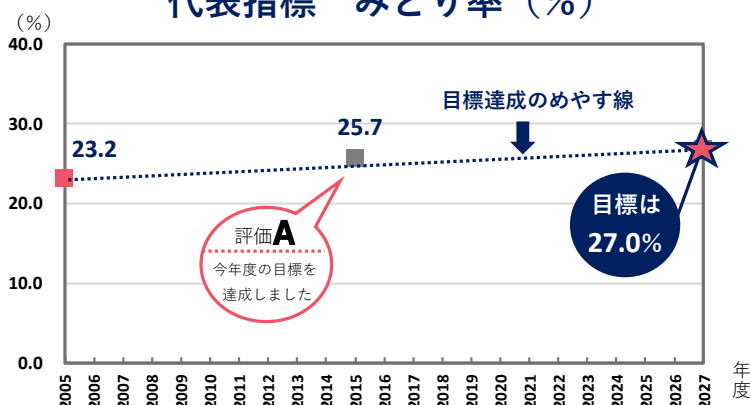


### 豊中市の2019年度の取組み

- ◆ 第2次豊中市みどりの基本計画で緑化重点地区に指定している南部地域における民有地の緑化支援制度の拡充やイベントの開催について検討
- ◆ 市民と協働により育成した花苗やゴーヤを小学校や公共施設等での緑化活動に活用
- ◆ ビオトープの推進として、ふれあい緑地1街区において自然環境啓発イベントを実施

### 2019年度の指標の進ちょく状況

#### 代表指標 みどり率 (%)



市内のみどり率は、新たな公園緑地の整備や開発行為に伴う緑化、樹木の生長、芝生化などにより増加傾向を保っているものと考えられます。



2017年時点  
みどりに対する満足度 **78.3%**

市全体では目標値を満たしているが、まとまったみどりの少ない南部地域での満足度は低め

※2019年度調査実施無し  
目標値は70.0%

年間  
みどりに関するイベント参加者数 **13,667人**

「ふれあい緑地フェスティバル」などイベントを年間を通して開催し、参加者数は昨年度と同等

(2018年度からの累計27,589人)  
目標値は2018年度からの10年間で累計150,000人

累計  
市民1人あたりの公園・緑地面積 **7.08㎡/人**

公園面積は増加したが、人口の増加の影響で減少

(対前年0.05㎡/人減少)  
目標値は7.17㎡/人

### 家庭でできること

#### 地域の緑化リーダーになろう！

花とみどりの相談所では、年間を通じて土づくりから花壇づくりまでを学ぶ「緑化リーダー養成講座」を開催しています。みどりに関する知識や技術を身に付けて、地域で実践しましょう！詳しくは花とみどりの相談所(06-6863-8439)まで。

取組紹介

身近なみどりを育てて増やす  
ガールスカウト大阪第61団

「アジサイを咲かせる会」とともに、挿し木をしたアジサイを家で観察し、秋に地域の遊歩道に植え付けます。大事に育てたアジサイが遊歩道いっぱい花を咲かせるのを楽しみに活動されています。



### 事業所でできること

#### 事業場や工場の敷地のみどりを増やそう！

事業場や工場の敷地内を従業員のみなさんで緑化する場合、樹木を公園みどり推進課で配送しています。みどりの潤いある職場環境づくりにご活用ください。



みどりを通じて食の大切さを学ぶ  
一般社団法人豊中青年会議所

子どもたちが野菜の栽培から収穫、料理までを体験する教室を開催しました。ふだん体験しない畑での作業にみんなで取り組むことで、みどりに触れ、食について考える機会となりました。



# 目標 5

# 安全で快適な都市環境 を守ろう

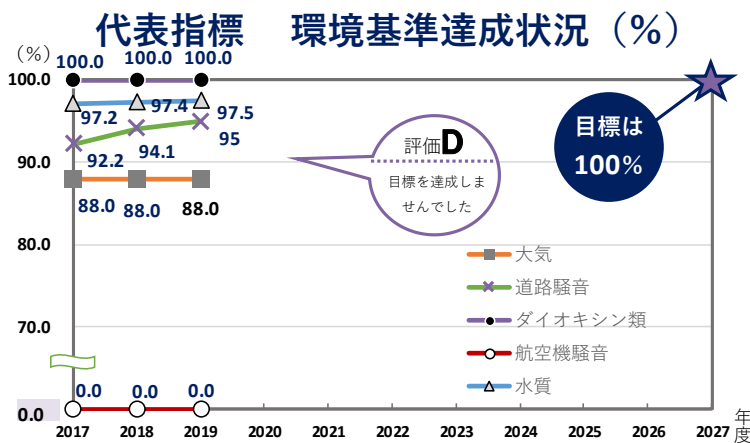
環境基準の達成状況100%で快適な都市環境をめざす



## 豊中市の2019年度の取組み

- ◆ 工場、事業場に水質汚濁や大気汚染防止のための立入検査
- ◆ PM2.5の速報値や光化学スモッグ注意報等を市ホームページで公表し、注意喚起
- ◆ 開発工事において、壁面緑化や屋上緑化など多様な緑化計画を協議

## 2019年度の指標の進ちょく状況



環境基準の達成状況のうち、道路騒音については、低騒音型舗装や、ハイブリッド車等の騒音が発生しにくい車の普及により数値が改善しています。ダイオキシン類は100%達成しており、一部の項目を除き良好な達成状況にあります。



熱帯夜数  
(3地点平均日数)

年間  
**40日**

記録的な猛暑であった2018年度に比べ大きく減少

(対前年12.3日減少)  
目標は減少

雨水貯留タンク  
設置件数  
(助成に係るもの)

累計  
**340件**

設置件数は増えているが、新規設置の数は前年の4割にとどまる

(対前年6件増加)  
目標は増加

大気に関する  
注意喚起回数

年間  
**6回**

気象状況の影響により注意喚起数は大きく増加

(対前年4回増加)  
目標は減少

## 家庭でできること

### 雨水を活用し水を大切にしよう！

豊中市では、屋根などに降った雨水を貯留する雨水タンクの設置費用を助成しています。雨水は花壇への水やりや道路の打ち水等に活用できるほか、災害時も生活用水として利用できます！

詳しくは環境政策課（06-6858-2107）まで。

取組紹介

市役所では電気自動車を導入しています  
豊中市

市役所では公用車の走行時に排出される排気ガスの抑制につながるよう一部の車両で電気自動車を導入しています。



## 事業所でできること

### 化学物質の排出を抑制しよう

大阪府では、化学物質の削減に向け各事業者が実施した対策を、業種ごとに取りまとめています。比較的容易ですぐに実施できる対策も多くありますので、化学物質の排出削減の参考資料としてご活用ください。

大阪府HP



### 緑化で大阪府知事賞を受賞

シティテラス千里桃山台（住友不動産株式会社）建物の周辺に連続して緑地を設け、屋上にも芝生広場や庭園など設置することで、周辺景観や都市環境の改善に貢献しています。都市部での緑化の先進的な事例として、「おおさか優良緑化賞 大阪府知事賞」を受賞されました。